

JFE商事甲南スチールセンター

関西地区の商社系コイルセンター、JFE商事甲南スチールセンター（本社＝神戸市東灘区、北島真治社長）は17日、神戸市中央区の東遊園地で、追悼行事「阪神大震災1・17のつどい」にボランティアとして参加した。寒空の下で犠牲者へ祈りをささげた。

阪神大震災は1995年1月17日午前5時46分に発生。計6437人の死者・行方不明者を出したほか、都市基盤に甚大な被害を与えた。同行事は市民団体などにより毎

阪神大震災の追悼行事 ボランティアに参加



社内でボランティア参加を呼び掛けた④、祈りをささげる社員（手前3人）

年開催されているが、今年で31年が経ち、当時を詳しく知る被災者が減少。国内の災害が増加傾向にある中で、教訓をど

がボランティアを募集し、追悼行事の関係者らとして地元へ社会貢献がしたいと考えていたところ、追悼行事の関係者ら

う継承していくかが課題となっている。社内で参加を呼びかけたという。



し、犠牲者の冥福を祈った。

参加者8人中7人が被災者という。営業部の田中涼係長は、学生時代に神戸市内の自宅で被災。自宅は全壊を免れたが一時的に避難所生活を強いられた。震災発生時は避難所で毎日ボランティアをしていたが、最近追悼行事を見に行く程度だったという。田中係長は「ボランティアとして参加し、思い出したくない気持ちも芽生えたが、一方で次世代へ語り継ぐ大切さを再確認する機会にもなった」と話していた。